

令和 8 年 度

救助資機材搭載型消防自動車

(C D - I タイプ)

富 士 河 口 湖 町

消防ポンプ自動車（CD-I型）仕様書

第1 総 則

- 1 この仕様書は、富士河口湖町（以下「発注者」という）が令和8年度に購入する消防ポンプ自動車（以下「車両」という）艀装、性能及びこれらに関する一切の仕様について定める。
- 2 車両は、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省第67号）に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。また、車体は常時登録された車両総重量の状態において、十分耐え得るものであること。
又、艀装品、消防活動に必要な付属品、災害救助資機材等を積載し、機動性、及び耐久性を高めた走行安全性の良い緊急車両であり、且つ運転操作及び点検作業が容易な構造であること。
- 3 艀装材料は、すべて日本工業規格品（工業標準法昭和24年法律第185号第17条第1項）又は、これらと同等以上の強度及び耐久性を有するものであること。

第2 仕様の変更

- 1 本仕様書に掲げるすべての装備、付属品及び資機材等の物品については、発注者の指定する物品とする。なお、同等品を使用する場合は、入札前に性能資料を提出し発注者の承諾を得なければならない。
同等品の定義は、発注者が同等の機能を有すると認めるものに限る。
同等品の性能確認については、完成検査及び納車検収時に現車で行うものとする。
- 2 艀装にあたっては仕様の目的が十分達成されるよう製作し、技術上変更を要する場合及び疑義がある場合は、随時「発注者」と協議し承認を得た場合のみ仕様の変更をする事ができる。

第3 仕様の確認

- 1 受注者は、本仕様に基づく工事が完全かつ強固に施行できるよう事前に協議を行い、設計・製作・材料・部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合は、その責任を負うこと。
- 2 富士河口湖町支給品以外の車両、及び装備品は、全て新規製品であること。
- 3 本仕様書に記載のない点、及び不明な点は、発注者と協議すること。

第4 提出書類

- 1 製作に先立ち次のものを各2部提出し、「発注者」の承認を受けること。
 - (1) 設計図（5面図 20分の1）
 - (2) 工 程 表
 - (3) その他発注者が指示するもの
- 2 車両納入時に次のものを各2部提出すること。
 - (1) 完 成 図
 - (2) ポンプ性能検査表
 - (3) 個別検定合格証書の写し
 - (4) 自動車検査証の写し

第5 検 査

- 1 施工中、工事確認及び指示のため中間検査を行う。
- 2 納入時に完成検査を行う。
- 3 その他「発注者」が必要と認めたときに行う。
- 4 すべての検査には、営業及び技術担当者が立ち合うこと。

第6 車両諸元

1 車体の構造

すべての資材は、消防車としての特種用途に合致した精度と強度を有しこの仕様書に特記しないものであっても、その一切は消防施設強化促進法（法律87号）第4条第2項に定める規格及び動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（自治省令第35条）並びに市町村消防防災施設整備費補助金交付要綱に適合したものでなければならない。

2 シヤシ型式

シヤシは、最大積載量3t級ダブルキャブ型の消防専用シヤシとし、車両総重量は5t未満とすること。

3 シャーシ寸法

ホイールベース	約2,800mm以下
全 長	約5,800mm以下
全 幅	約1,900mm以下
全 高	約2,800mm以下（赤色回転灯含む）（ボックスは別途）

4 エンジン並びに電気装置及びその他

エンジン出力	110KW/2,380rpm
総排気量	4000cc程度
ジェネレーター	24V-90A
バッテリー	24V-100AH以上（引出し式）
燃料タンク	60L程度
タイヤ	スタッドレスタイヤ
主ブレーキ	油圧真空倍力装置付
キャブ	ダブルキャブ・全鋼製電動油圧チルト付
オイルパンヒーター	AC 100V-150W（3極コンセント、キャップ付）
駆動方式	4WD
トランスミッション	マニュアルトランスミッション

5 運転席及び隊員席

- (1) 運転席及び隊員席はシヤシ固有のものとする。
- (2) 前席後部に、後席用の握り棒を取り付ける。
- (3) 後席用握り棒に防火衣ヘルメット等を掛けることができるフック8個を取り付ける。
- (4) キャブ内天井中央にLED室内灯（10W以上）を1個取り付ける。
- (5) キャブ両側に乗降用踏み台及び握り棒を取り付けること。

6 主ポンプ

- (1) ポンプはA-2級全青鋼製2段バランスタービンポンプインデューサー付とし性能は「規格放水性能0.85Mpaにて毎分2750ℓ以上」「高圧放水性能1.40Mpaにて毎分2200ℓ以上」とすること。
- (2) ポンプの架装は、つとめてエンジンに近く、かつ、点検整備に便利なように取り付け、上部及び後方は出来るだけ大きく開放出来る構造とすること。
- (2) 主ポンプ及び附属装置を支える補助機は、シャシー、フレームに堅固に取り付け、振動等で緩みを生じないようにすること。
- (3) ポンプドレンコックは、集中型とし30秒以内に残水を完全に排出できるもので、開閉はPTOスイッチに連動する。

7 真空ポンプ

- (1) 4翼偏心ロータリーポンプとする。
- (2) 軸受けには精密ボールベアリング入りとし、動力の接・断は電磁クラッチによる構造とし動力伝達についてはVベルトによりスムーズな伝達が行えること。
なお揚水完了と同時に自動的に停止するものとし非常用の別系統スイッチを設けること。
- (3) 性能は、30秒以内に真空度が大気中の84%以上であること。
- (4) 揚水完了を示すランプを計器盤に取り付ける。
- (7) 自動揚水システムパネルは、左右各1個設けること。

8 動力伝達、ポンプ調整装置

- (1) ポンプへの動力伝達は、電磁スイッチにて行い運転席にてボタン操作によって行うものとする。
- (2) ポンプ用のスロットルは、機械式としポンプ室左右より各計器を見ながら操作できる位置に取り付け回転でエンジン回転上昇、左回転で下降するものとし様々なエンジン回転制御が可能なものとする。

9 吸水装置及び吐水装置

- (1) 吸水管は75mm×10mを、左右各1本とし、ボールコック付とする。
- (2) 吸水口内にストレーナー（取り外し型）を取り付けること。
- (3) 吸水口にエゼクターを取り付け吸水量1.0m³/min（吸水高3m）の時に、バルブを全開しても落水せず60秒以内に揚水を完了するものとする。
- (4) 吐水口は65mm左右各2個とし、内1個はスィーベル吐水口媒介（ヨネANS-65）とする。
- (4) 中継口は65mmボールコック（ストレーナー付）とし左右に各1個取り付ける。
- (6) 吸水、吐水のコックはすべて操作員手前にて開放とする。

1 0 冷却配管

- (1) 冷却配管はバルブにより、ポンプミッションオイルクーラーを経て補助クーラーに至るものとする。配管の詰まりを考慮して予備回路を併設すること。
- (2) 操作はポンプ室右に送水用バルブを設けること。

1 1 照明装置及び警報装置

- (1) 赤色警光灯（スピーカー・標識灯内蔵）をキャビン上部前方に取り付ける。取付方法はキャブ天井の保護の為、警光灯はキャブへ直付けせず、袴上のボックスを用いて取り付けを行うこと。
- (2) 車両後部に赤色点滅灯を取り付ける。（保護枠付）
- (3) 車両前部及び側部に、赤色点滅灯を取り付ける。
- (4) 各計器照明用のLEDライトを左右に取り付けること。
- (5) 各ボックス内にLED照明ランプを取り付ける。
- (6) ボディ左右側面立ち上げ部後方へ、LED照明灯を取り付ける。
- (7) LED式サーチライトを左右前ボディ上部に取り付ける。
サーチライトは、伸縮式とすること。
- (8) 電子サイレンをキャブ内へ取り付けること。
- (9) 助手席隊員用のスポットライトを取り付けること。
- (10) 照明装置及び警報装置の操作は、キャブ内前席にて操作できる構造とする。

1 2 艀装及びボディ構造

- (1) ボディ構造は、前部よりキャブ・ポンプ室・荷台とする。
- (2) サイドエプロン、リヤステップ等は軽合金縞板とする。
- (3) ボディー上部に梯子を取り付ける。
- (4) ボディー上部側板立ち上げ部に25mmステンレスパイプの手摺を設ける。
- (5) ポンプ室上部及び後部にポンプ点検口を設ける。
- (6) 鳶口、管鎗（後部）、スタンドパイプ、無反動管鎗、消火栓開閉金具を確実に取り付けること。
- (7) 車両左右ステップ、各コック下部・フェンダー上部・吸水管積載部はアルミ縞板張りとする。
- (8) 狭路・小路地対策の為、フェンダー後方部（リアオーバーハング）ステップは、後方に対し設計の許す限り絞りを入れること。
- (9) キャブ内後部座席下に自動充電装置を設け、外部100V電源をマグネットコンセントにより接続できる様にする事。
- (10) 車両左側吸水管巻上部に、簡易的に鳶口を設置できるように処置を施すこと。
- (11) ボディ部よりリア部に延長したアルミ製（側板も含む）ステップを設けること。（詳細別途協議）また、車両左側にはバッテリー収納ボックス（スライド式）右側には燃料タンクを設けること。
- (12) キャブ内で使用できる100V電源を設けること。

1 3 ボックス

- (1) ポンプ室上部には、左右貫通型のシャッター扉式収納庫を設けること。
- (2) 車両後部荷台には、シャッター扉式資機材収納庫を設けること。
- (3) ポンプ室上部にアルミボックスを設けること。(全高は別途協議)
- (4) 各ボックス内にはスノコ(樹脂製)を入れ、水が入らないようにパッキンを取り付けること。

1 4 その他取付

- (1) キャブ前部中央に消防団章を取り付ける。
- (2) 受令機及びアンテナ一式を取り付ける。尚、スイッチはメインと併用とする。
- (3) 車両左側面に分団旗の取付装置を設けること。

1 5 塗装及び記入文字

- (1) 車両各部に完全な錆止めを行い、外面は赤色アクリル塗装とし全て良質な材料を使用し長期剥離のないようにする。
- (2) フレーム、フェンダー内側その他車体の下廻りは黒色とする。
- (3) ポンプ室内側及びボックス内は、オリエンタルグリーンに塗装すること。
- (4) 次のものは上質のクロームメッキ及びアルマイト処理を行うこと。ただし、鉄製品は銅メッキの上で行うこと。計器盤、各操作レバー、吸水口、吐水口、媒介金具、照明灯、筒先、金具、手摺り、握り棒等。
- (5) 車体記入文字については、富士河口湖消防団と分団名をキャブ後部ドアに記入すること。標識灯には、分団名を記入すること。

1 6 補 足

- (1) 車両はすべての検査に合格したものを納入すること。
- (2) ナンバーは、希望ナンバーとし、発注者と協議すること。
- (3) 納車時に、消防団員立会いの下、車両、及び付属品の取説を行うこと。
- (4) 保証期間は納入後2ヶ年とする。ただし、設計不良、工作不良に起因する不都合が発生した場合は、無償にて修理又は製品の取り替えを行うこと
- (5) 入札書に記載する金額は、車両本体及び装備品に係る一切の費用に販売諸費用(重量税・自賠責保険・リサイクル料等の消費税非課税費用を含む。)を含めた**消費税込みの総額**を記載するものとする。

1 7 納入台数 1 台

1 8 納 期 令和 9 年 3 月 3 1 日

1 9 納入場所 富士河口湖町役場指定の場所

※納期については、昨今の社会情勢の変化を鑑み、令和8年12月末時点で進捗状況を示し、延長が必要と判断した場合、両者で協議するものとする。

No.1 消防専用シャシ(M/T・4WD)

No.	品名	数量	備考
1	車両本体(M/T・4WD)	1	
2	ドアバイザー	1	
3	バックカメラ	1	
4	後退警報ブザー	1	
5	フロアマット	1	フロアラバーマット(1台分セット)
6	スタッドレスタイヤ	1	※オールシーズン着用

No.2 付属品

No.	品名	数量	備考
1	赤色警光灯(散光式)	1	
2	標識灯	1	
3	前後部補助警告灯(赤色点滅灯)	2	
4	側部補助警告灯(赤色点滅灯)	1	
5	LEDサーチライト	2	
6	電子サイレンアンプ	1	
7	電子サイレンアンプ用マイク	1	
8	車載型デジタル受令機	1	
9	消防団マーク	1	
10	吸水管SDH75×10m	2	
11	ストレーナー内蔵型ちりよけカゴ(ロープ付)	1	
12	消火栓媒介金具	1	
13	消火栓開閉器	1	
14	スタンドパイプ(単口引き上げ式)	1	
15	放口媒介金具	1	
16	吸管スパナ	1	
17	消火栓T字キー	1	
18	消火栓コの字キーハンドル	1	地下式(1200mm)コの字型
19	金テコ900mm	1	
20	剣先スコップ	1	
21	管鎗65mm噴霧ノズル付き	1	
22	鳶口1800mm	2	グラスファイバー
23	アルミスライド式はしご	1	6.2m
24	自動車用消火器20型	1	ブラケット付き
25	車輪止め	2	
26	消防用カラーホース(国家検定品)	8	NewマイティAA 20m
27	消防用ホース(国家検定品)	1	5m
28	吸管枕木	2	ゴム製
29	団旗及びL型ポール	1	
30	ヘルメット(LEDライト+警笛+ゴーグル)	6	
31	防火衣	6	ND-3034 名入れ
32	防火手袋	6	
33	スーパーホースブリッジ	2	L型

